

## 農山漁村地域整備計画の事後評価

1. 計画名称：北海道漁港漁場漁村整備計画
2. 計画策定主体：北海道
3. 計画の期間：平成22年度～平成26年度（5年間）

事後評価項目	評価の内容
①交付対象事業の進捗状況	計画期間内の地区（対象地区20地区、関連地区9地区）は予定どおり実施しました。 平成27年以降に継続する地区については、次期計画（平成27年度～平成31年度）で実施予定です。
②事業効果の発現状況	計画期間内に事業完了した地区については、事業効果が発現しました。 平成27年以降に継続する地区については、次期計画（平成27年度～平成31年度）や他事業により、早期に効果発現を目指します。
③成果目標の目標値の実現状況	<p>1 魚類資源の産卵場や育成場としての機能を有する多様な藻場を造成 【目標値】藻類を繁茂させる面積 61,700㎡ 【実現状況】90.6%</p> <p>2 安全な航行・係留・陸揚げが可能な施設の増加 【目標値】安全な航行・係留・陸揚げが可能になる漁船数 337隻 【実現状況】98.2%</p> <p>3 陸揚げ作業時間の軽減 【目標値】陸揚げ作業時間を1,510時間削減する。 【実現状況】100.0%</p> <p>4 排雪が不要となる地区の拡大 【目標値】排雪が不要となる面積 1,860㎡ 【実現状況】100.0%</p> <p>5 災害時の緊急輸送待機所の確保 【目標値】災害時の緊急輸送待機所として、0.3ha確保する。 【実現状況】100.0%</p> <p>6 漁港整備による荒天時見回り回数の削減 【目標値】荒天時見回り回数を46回削減する。 【実現状況】89.1%</p> <p>7 プレジャーボートの集積利用 【目標値】整備した施設にプレジャーボートを40隻集積する。 【実現状況】117.5%</p> <p>8 係留施設の漁労環境の向上 【目標値】係船岸充足率を71%にする。 【実現状況】100.0%</p> <p>9 適正水深の係留施設及び水域の整備に伴う漁船の陸揚待機回数の削減 【目標値】陸揚待機を無くす。 【実現状況】100.0%</p> <p>10 集落排水施設の長寿命化 【目標値】集落排水施設の長寿命化が図られている処理区域人口 1,287人 【実現状況】96.1%</p> <p>11 船揚場における漁船上下架及び陸揚げ作業時間の軽減 船上下架及び陸揚げ作業時間を0.5時間削減する。 【実現状況】100.0%</p> <p>12 波浪発生時の漁船1隻当たり監視回数の軽減 【目標値】波浪発生時の漁船1隻当たり監視回数を年間38回削減する。 【実現状況】78.9%</p> <p>【総括】 12項目中6項目は目標達成しました。残り6項目については次期計画や他事業により、早期に目標達成を目指します。</p>
④今後の方針	今後も次期計画（平成27年度～平成31年度）により、安全で快適な就労環境を有する漁港と持続的で生産性の高い漁場を整備することにより漁業生産に資する基盤づくりを図ります。